

令和4年度 富士市CNF関連産業推進懇話会
富士市CNFプラットフォーム活動に関する
報告及び今後の予定

富士市CNF関連産業推進構想【2019年3月策定】

- CNF関連産業の創出・集積に向けた取組を飛躍させ、より効果的な地域産業振興と地域への波及効果を高める
- 「将来像」及び将来像実現のための「5つの方針」を設定し、方針に基づく施策を展開

富士市が目指すべき将来像

CNFでつながり ひろがる ものづくりのまち ふじ
～ 持続可能な社会を創るまちへ～

方針1

CNFの理解促進 ～CNFを知る～

CNFの最新動向の把握、取組ステージに応じたCNF専門知識の普及啓発、様々な媒体を通じた情報発信の強化

方針2

CNFの活用促進 ～CNFに触れる・作る～

CNFデータの活用・共有、大学・研究機関への紹介・斡旋、活用を後押しする補助制度の創設・運用・紹介

方針3

CNF・地域産業の拠点とネットワーク形成 ～CNFでつながる～

人材育成と研究機能の強化に向けた拠点整備、企業等のマッチング機会の創出、全国の地域CNF推進組織等との連携強化

方針4

CNFの事業化推進 ～CNFで儲ける～

産学金官による連携活動の促進、ビジネスモデルの構築

方針5

CNFのまちブランド育成 ～CNFのまちをプロモーション～

CNFのまちシティプロモーションの強化、ふじに集まる仕組みづくり

推進構想は、2030年までの長期にわたるものだが、喫緊に対応すべき取組を**短期的なアクションプラン**（2019年～2021年）として定める

アクション1

積極的な広報・PRによる情報発信・普及啓発

- CNF普及啓発パンフレット・冊子の作成と配布
- CNF普及啓発講座の実施
- CNF専門ウェブサイトの開設 等

アクション2

用途開発を後押しするマッチング機会の創出

- CNF活用の分野・技術等に応じた研究会の開催
- 出口創出に向けたシーズ・ニーズの効果的なマッチング機会の創出

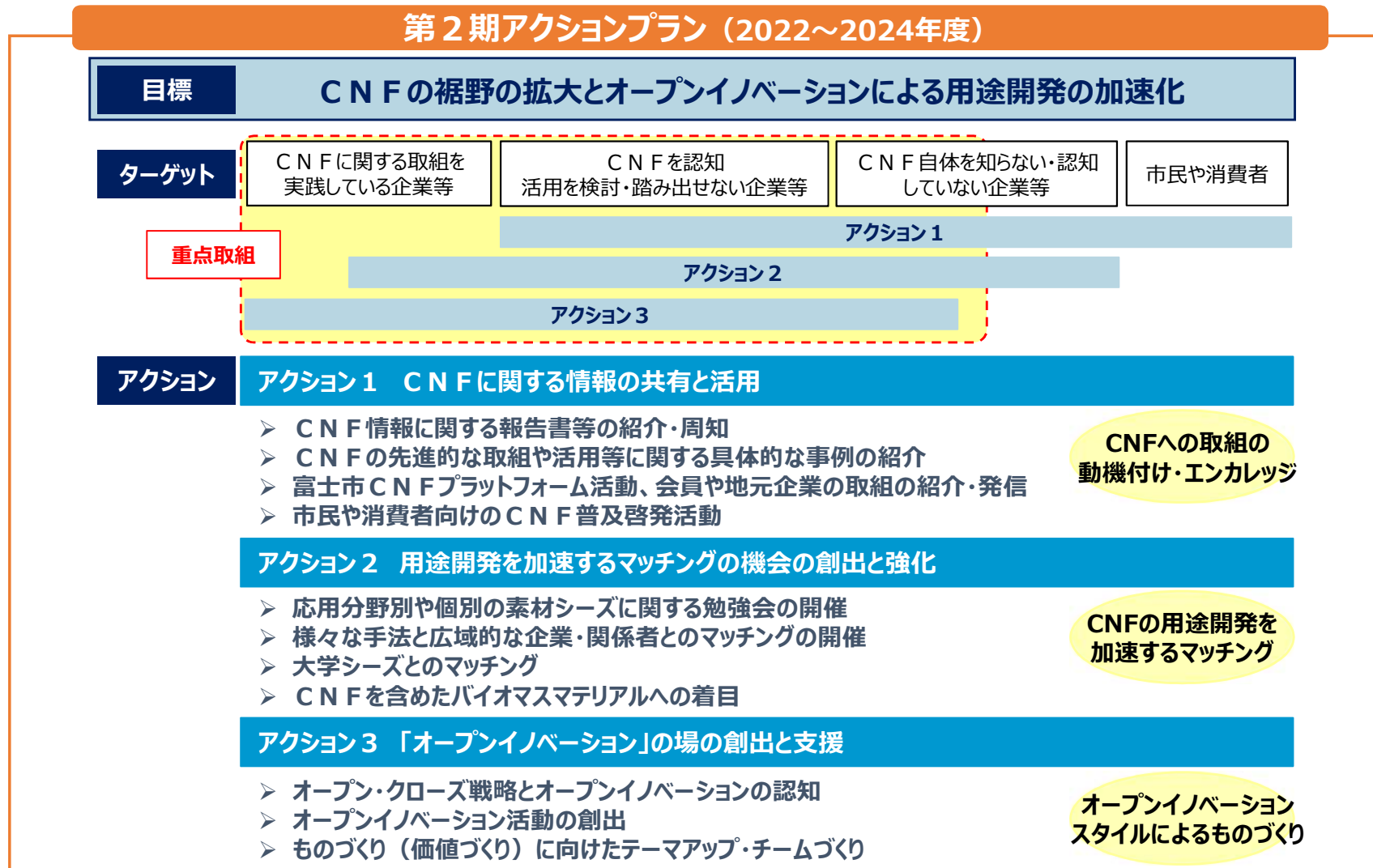
アクション3

「アクション1」「アクション2」等取組を展開する場

富士市のCNFの取組に関する推進組織

- 「富士市CNFプラットフォーム」の設立・運用

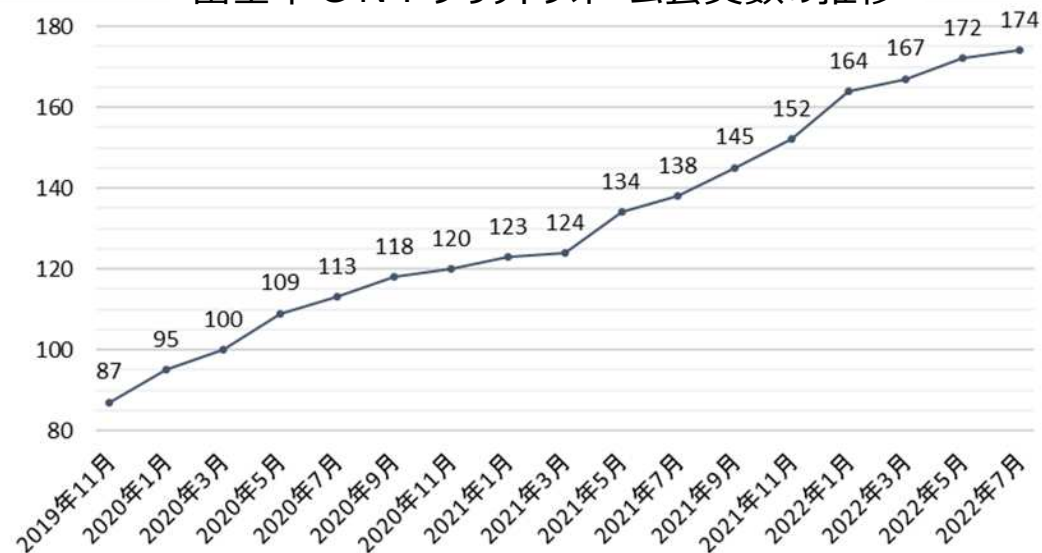
- 第1期アクションプラン（2019～2021年度）が終期を迎え、推進構想策定後の社会情勢やCNFを取り巻く変化、第1期アクションプランの実施状況等を踏まえ策定【2022年3月】
- 2022～2024年度の取組を明確化し、施策の更なる展開を図る。



富士市CNFプラットフォームの運用・活動

- 「CNFでつながる」場・体制の構築：富士市CNF-PFの設立(2019年11月)
CNFの用途開発を加速し、CNF関連産業の創出を図るための連携・ネットワーク構築
- 国内の事業者、大学等の教育機関、産業支援機関、行政機関等を会員対象
※国内の大学、研究機関等に保続する研究者は、個人入会可

富士市CNFプラットフォーム会員数の推移



会員数 174【企業・団体等152、個人等22】
(2022年7月末 現在)

(参考)推進構想に基づく成果指標

| 推進構想方針3 | 指標 | 基準値 | 中間値2024年 | 目標値2030年 |
|----------------------|-----------------|-----|----------|----------|
| CNF・地域産業の拠点とネットワーク形成 | プラットフォームへの参加団体数 | - | 40団体 | 80団体 |

| 取組ステージ | 実施事業 (R3実績・R4予定) |
|--|---|
| 知る場 CNFの普及啓発・理解促進 | <ul style="list-style-type: none"> 全体セミナー2022(22年8月) 金融機関向けCNFセミナー(22年6月) 技術セミナー(21年12月) ウェブサイトの運用、会報紙制作・発行 CNF普及推進員活動 |
| 触れる場・作る場 CNFの活用に向けたサポート | <ul style="list-style-type: none"> 実践セミナー(22年3月) 補助金の運用 産学連携CNFチャレンジ補助金 静岡大学、富士工技や県CNF-CD等への橋渡し |
| つながる場・実施の場 CNF関連製品・産業創出に向けた連携・ネットワーク構築 | <ul style="list-style-type: none"> 富士市CNF関連産業創出事業(22年6月～) CNFビジネスマッチング(21年10月) 静岡県との連携事業(CNF総合展示会等) 静岡大学「ふじのくにCNF寄附講座」 「F CNFブランド」活用勉強会 富士市CNF連携拠点「磯貝 明 特別教授ラボ」 デジタルツールを活用したCNF-OI促進事業 |
| 展開の場 CNF関連技術・製品を社会・市場に広める | <ul style="list-style-type: none"> 富士市CNF関連産業創出事業の成果共有 富士市CNFブランド認定事業(21年8月～) CNFビジネスマッチング：会員の出展(21年10月) ⇒ふじのくにCNF総合展示会へ プロモーション推進事業(21年12月 他) |

- プラットフォーム活動の報告や計画をはじめ、CNFの研究開発及び実用化等の動向、取組事例の紹介等、会員全体に対する参画事業として開催
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念される中、様々な対策を講じ、来場とオンライン配信による参加のハイブリッド型セミナーを実施
- 来場者61名、ライブ配信聴講者80名 合計141名が聴講

【日時】2022年8月9日（火）13:30～17:00

【会場】富士市文化会館ロゼシアター小ホール・オンライン配信

【内容】

- ・「TEMPO酸化CNFの結晶性制御と欠陥構造、及びフィルム・多孔体・複合体の最新成果」
 東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授 齋藤 継之 氏
- ・「セルロースナノファイバーの市場及び技術動向調査とCNF事業のご紹介」
 NEDO材料・ナノテクノロジー部 主査 丸岡 啓子 氏
- ・「富士市セルロースナノファイバー関連産業創出事業」事業報告
 富士市CNFプラットフォーム製品開発事業
 丸富製紙(株)、東洋レチン(株)、天間特殊製紙(株)
 富士市CNFプラットフォーム実用化研究事業
 静岡大学農学部 特任教授 青木 憲治 氏
- ・市報告：「富士市CNFプラットフォーム」の活動について

聴講者の反応

- ▶ セミナーの満足度は、「満足」「やや満足」が約9割
- ▶ 非常に貴重な情報提供の場
- ▶ コロナ禍のため、WEB開催での参加になってしまったことは、非常に残念



セミナーの開催に留まらず、本来のプラットフォームの趣旨「つながる場」の実現に向けた取組が必要

- 国内の最前線でCNFに関する研究開発を進める大学研究者を講師に招き、研究内容等を講演
- 静岡大学との連携：「ふじのくにCNF寄附講座 社会人向け公開講座」として実施、38名が受講
- 静岡県との連携：講演映像を録画し、「ふじのくにCNF総合展示会」の企画展セミナー(1月分)として配信

【日時】 2021年12月3日(金) 14:00~17:00
 【会場】 静岡大学静岡キャンパス【Zoomウェビナー(オンライン配信)】

【内容】

- ・特別講義「オープンイノベーション実践のコツ」
 京都大学客員教授

(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長 内閣審議官) 渡邊 政嘉 氏

- ・講義 1「CNFセルレーション技術とナノコンポジット材料の開発」
 信州大学先鋭材料研究所 特任教授 野口 徹 氏
- ・講義 2「富山発のコンポジット用CNFの開発およびCNFコンポジットの特徴と将来」
 富山県立大学工学部機械システム工学科 客員教授 永田 員也 氏
- ・講義 3「木質材料分野におけるCNFの利用可能性の検証」
 静岡大学農学部生物資源科学科 教授 小島 陽一 氏

MC：静岡大学農学部ふじのくにCNF寄附講座
 特任教授 青木 憲治

ふじのくにCNF総合展示会 ウェブサイト

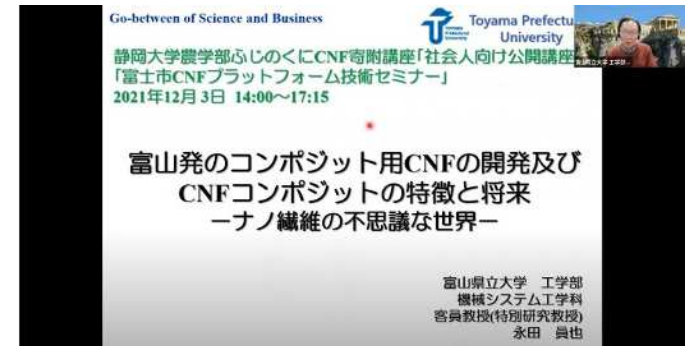
ふじのくにCNF総合展示会 展示ブース(製品展示ページ)

ふじのくにCNF総合展示会



CNFセルレーション企業 用途関連企業 CNF製造機関連企業 分析企業 大学・研究機関等

CNF(セルコーステナファイバー)は繊維由来で環境に優しく、軽量・強靱などの優れた特性を持つことから、多様な分野への応用が期待されている新興材料であり、静岡県は、地域企業による多様な製品開発を支援しています。「ふじのくにCNF総合展示会」は、ふじのくにCNFフォーラムが開催する、CNFに関する国内最大級の展示場であり、令和3年12月1日から令和4年2月28日までオンラインで開催し、CNF素材や製造機械、用途関連の開発・製造、分析に携わる企業から研究機関・大学まで、全国から76社・団体が出展しました。引き続き、由貴企業等の展示ブース(製品展示ページ)を掲載しておりますので、ぜひご覧ください!



- 事務局(自治体)のフットワークを活かし、学生・市民・企業等への「CNF普及啓発講座」を開催
- 市役所等、多くの方の目に触れる場所での「CNFやCNF関連製品の展示」による広報活動を実施



吉永第一小学校 社会科授業
実施日 2021年10月28日(木)
参加者 5年生60名



市役所産業政策課前
CNFやCNF関連製品の展示



市内企業向け講座
実施日 2022年4月26日(火)
参加者 30名程度



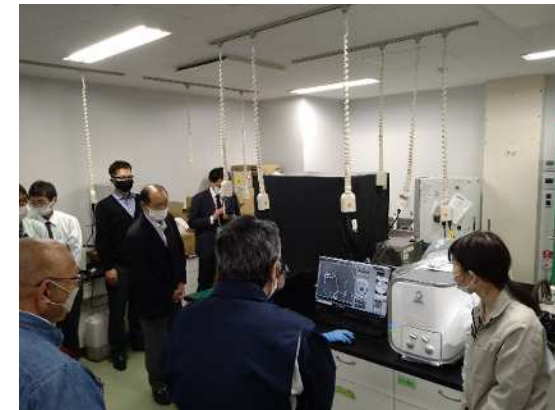
静岡銀行富士中央支店
富士市CNFブランド認定製品展示

富士市CNF普及推進員 菅井良美 氏
小中学校の授業、社内研修などで講座開催

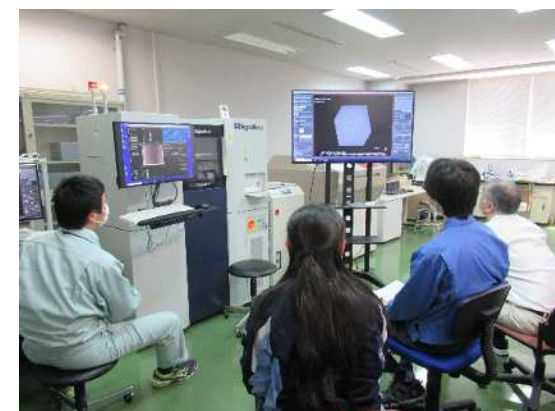
プラットフォーム会員等の協力をいただき
CNFの認知度向上に向けた取組

- 「CNFを知る」「CNFに触れる」「CNFで作る」をテーマに、CNFの製造や樹脂との混練、分析・評価等を講義・実習形式で学ぶ全3回のセミナー
- 登録参加者数 12社延べ32人が参加

【第1回】 日時 2022年3月11日(金)
 会場 静岡大学 農学部農学総合棟
 講師 (国研)産業技術総合研究所
 材料・化学領域 機能化学研究部門
 セルロース材料グループ 遠藤 貴士 研究グループ長
 内容 ・ナノセルロース概論、機械的解繊によるCNF製造技術
 ・CNF特性評価「走査型電子顕微鏡」



【第2回】 日時 2022年3月18日(金)
 会場 富士工業技術支援センター
 講師 富士工業技術支援センターCNF科
 内容 ・液中分散安定性評価装置
 ・原子間力顕微鏡 ・マイクロX線CT装置



【第3回】 日時 2022年3月25日(金)
 会場 静岡大学 農学部農学総合棟
 講師 静岡大学 農学部 ふじのくにCNF寄附講座
 青木 憲治 特任教授
 内容 ・CNFと樹脂との混練、ラボプラストミル
 ・樹脂中のCNFの分散と解析事例

【2020年度 参加者の反応等】

- ▶ 全3回の実践的なセミナーで満足度は高い
- ▶ 実際にサンプルや製造装置に触れて実感として理解が深まる
- ▶ 他の実習講座(NEDO特別講座など)へのつながり

令和4年度も富士工業技術支援センター、
静岡大学と連携して開催を予定

富士市CNF連携拠点 「磯貝 明 東京大学特別教授ラボ」の開設

- 地域企業の技術支援や人材育成の強化を目的に、静岡県と連携し、富士市の活動拠点となる「富士市CNF連携拠点」を富士工業技術支援センター内に設置
- 拠点の活用として、CNF研究の第一人者である東京大学 磯貝 明 特別教授を招聘し、「磯貝 明 東京大学特別教授ラボ」を設置
- 磯貝先生は、月1回程度、ラボを使って企業面談や技術相談、企業訪問、富士工業技術支援センターや静岡大学との連携事業等を実施予定
- 推進構想 方針3「CNF・関連作業の拠点とネットワーク形成」に資する静岡県と連携した拠点整備



磯貝先生 7月活動の紹介【実施日：7月29日(金)】



ラボにおいて3社との面談を実施



静岡大学青木研究室を訪問

- 青木先生の研究開発に関する意見交換等
- 青木研究室所属学生との意見交換や助言等

2022年6月10日 開所式及びキックオフセミナー
キックオフセミナーでは、磯貝先生より「CNFの研究開発動向と富士市の可能性」と題して講演をいただきました

磯貝先生の活動の予定や面談の受付、活動報告等、
富士市CNFプラットフォームウェブサイトでお知らせ

- 富士市CNF-PF会員の技術や製品をPRする場を設け、来場者との連携や協業に向けたマッチングの機会
- マッチング会と同会場にて、ナノセルローズジャパンが主催する「ナノセルローズ塾」の第2回を併催
⇒ ナノセルローズ塾塾生へのPRの場、情報収集・提供、技術相談等の場
- 来場者・出展者は「ナノセルローズ塾」第2回の講義等が聴講可能

富士市CNF-PF会員、出展者、
ナノセルローズ塾塾生、来場者が
Win-Win-Win… 企画！
CNFへの取組のシナジー効果

【日時】 2021年10月16日（土） 10:00～18:00

【会場】 富士市産業交流展示場ふじさんめっせ 会議室

・富士市CNF-PF会員の出展による来場者とのマッチング会

・ナノセルローズ塾 第2回 講義等

テーマ「CNF／材料の基礎」

講師 京都大学教授 矢野 浩之 氏／静岡大学特任教授 青木 憲治 氏

【参加者】

・出展者：PF会員 10会員 24名

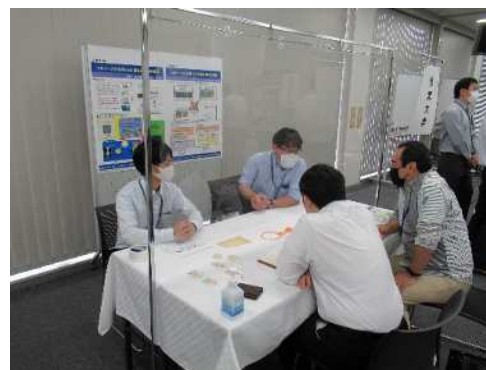
・参加者：一般来場・ナノセルローズ塾塾生 46名 合計70名

【来場者の反応】

- ▶ 開催内容…満足度(約8割)の高い評価
- ▶ 情報交換やネットワークづくりに意識の高い来場者傾向

【出展者の反応】

- ▶ ナノセルローズ塾の来場者 = 関心の高い来場者とのつながり
- ▶ コロナ禍 = コンパクト(時間・規模)・限られた来場者
⇒ マッチングの場としては最適、満足のいく結果を得られた
- ▶ オンラインもよいが、「素材」だけに対面式で内容の濃い面談



サンプル提供・技術提供、協業の可能性へ
至ったとの会員が複数

ふじのくにCNF総合展示会 ※3年ぶりのリアル開催

開催日 2022年11月8日(火)

会場 富士市産業交流展示場「ふじさんめっせ」大展示場 ※JR 東海道新幹線 新富士駅すぐ

出展 80社・団体程度を予定

内容 展示：企業・行政ブース、NCV、アカデミックゾーン等

講演：基調講演（京都大学 矢野先生）、出展企業プレゼン（15社程度）等



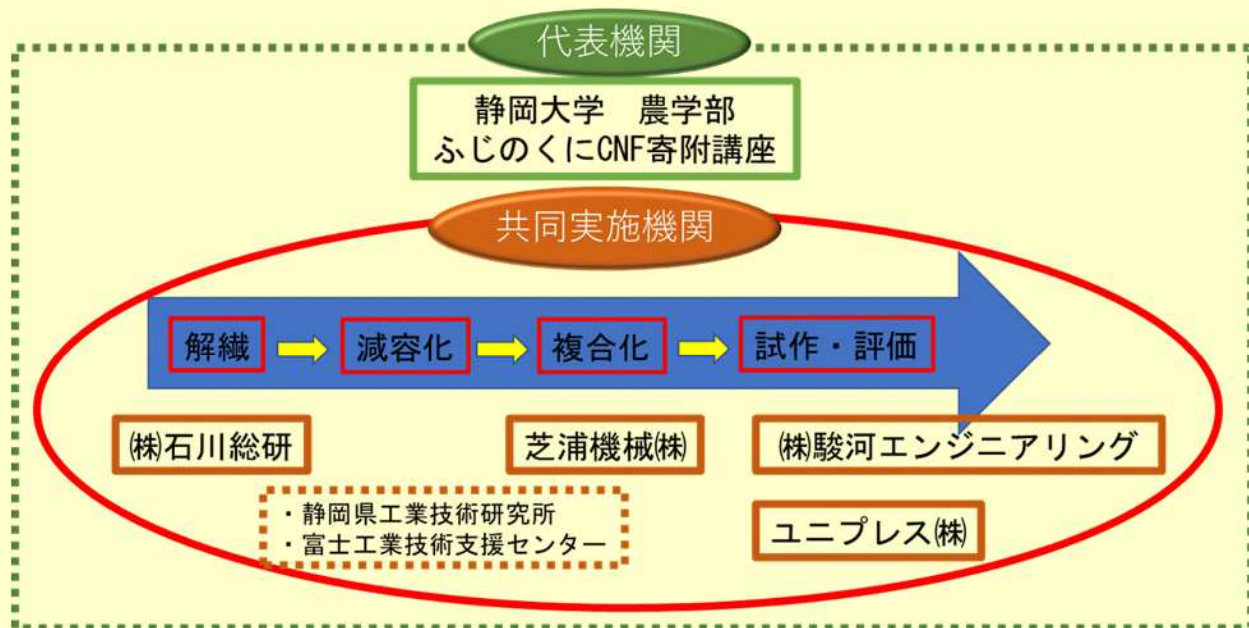
主催 ふじのくにCNF フォーラム、静岡県、富士市
後援 ナノセルロースジャパン、関東経済産業局、近畿経済産業局、
京都大学生存圏研究所、京都市産業技術研究所 等

- ▶ プラットフォーム会員を対象に、会員連携等を有効活用し、CNF関連技術・製品の早期の実用化・製品化に向けた事業を公募し、委託事業として実施
- ▶ 令和4年度は「富士市CNFプラットフォーム実用化研究事業」のみを実施
会員の大学等における研究者を実施代表者とし、会員企業との連携を前提に、大学等が保有する研究シーズを連携する企業に展開することで、CNFの実用化を推進する研究開発

採択事業

- ▶ 研究テーマ名
マイクロフィブリル化セルロース(MFC)を用いたガラス繊維(GF)代替複合材料の開発
- ▶ 代表実施者
静岡大学農学部 特任教授 青木憲治
- ▶ 共同実施者(プラットフォーム会員企業)
(株)石川総研、芝浦機械(株)、
(株)駿河エンジニアリング、ユニプレス(株)
- ▶ 協力機関
静岡県工業技術研究所、
富士工業技術支援センター

一気通貫型開発プロセス



令和4年度事業の進捗や成果などは、来年度のプラットフォームセミナーなどで報告

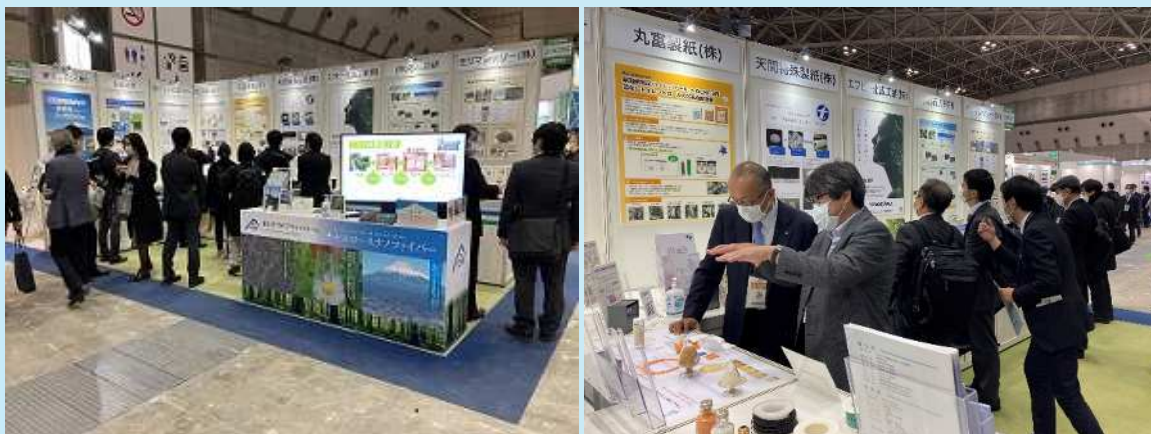
- 富士市CNF-PF会員の技術・製品のPR、多くのユーザーやバイヤー等とのビジネスマッチングの機会の創出、PFの取組の紹介を通し、認知度向上、連携やCNF関係者の裾野を広げる
- 「エコプロ2021」内の企画展「ナノセルロース展」に富士市CNFプラットフォームとして初出展

【出展展示会】

- ▶ 展示会名 ナノセルロース展（エコプロ2021内）
- ▶ 開催期間 2021年12月8日（水）～10日（金）
- ▶ 開催場所 東京ビッグサイト 東ホール
- ・入場料 無料
- ・主催 （一社）サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社
- ・来場者数 54,885人
- ・来場対象 素材、化学、建設・土木、住宅、建材、家電、文具、印刷、機械、日用品、化粧品、食品、流通、医療、福祉、分析サービス、中央省庁、地方公共団体、研究機関、大学など

■ 富士市CNFプラットフォームの出展概要

- ▶ 出展場所 ナノセルロース展内



- 共催のナノセルロースジャパンの展示、他地域の推進組織・機関、ナノセルロース関連企業とともに、ナノセルロースに関するシナジー効果を創出
- 富士市CNFプラットフォームとして、**会員8社・機関と出展**
(株)石川総研、エフピー化成工業(株)、静岡県富士工業技術支援センター、静岡大学、天間特殊製紙(株)、東洋レチン(株)、丸富製紙(株)、モリマシナリー(株)
- ブース来場者 1,047名（3日間計）

- ✓ 令和4年度もエコプロ2022内「ナノセルロース展」に出展予定
- ✓ 出展を希望するプラットフォーム会員を募集し、プラットフォームとして出展

- CNF又はCNF関連技術を活用し、生産・製造・加工した製品等を「富士市CNFブランド『F CNFブランド』」として認定
- 2021年8月に創設。地域ブランドの確立・向上に向けた取組の展開

富士市CNFブランド認定制度

▶ 富士市CNFブランド認定事業実施要領に基づき実施

対象品、対象者、認定・登録スキーム、認定の表示、認定事業者の責務などを明記

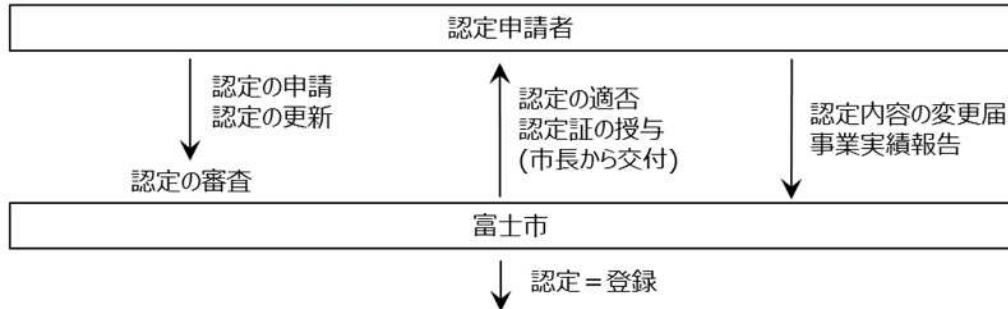
▶ 認定のスキーム

認定の対象品（製品等）

CNF又はCNF関連技術を活用し、生産・製造・加工された製品等

認定申請の対象者

富士市内に本社若しくは主な事業所を有する事業者・機関及び団体等、
又は富士市CNFプラットフォーム会員



富士市CNFプラットフォームウェブサイト等での公表
ふるさと納税返礼品、情報発信(製品の優先PR・メディア紹介)、
サンプルや実物の展示・場所の提供 など

▶ 富士市CNFブランドマークの使用



- ・富士市CNFブランド認定証の交付を受けた者は、認定された製品や製品の包装・容器等に富士市CNFブランドマークを使用することが可能
- ・認定製品はもとより、認定製品のパッケージや広報用チラシ・パンフレット等にも使用可能

認定製品には、認定証を授与



- 第1期は5製品、第2期は3製品を認定
- 富士市長から認定証授与
- 今後も第3期、第4期…と取組を展開



- 芯なしトイレットペーパー (丸富製紙株式会社)
- 美容液・化粧水・クリーム (株式会社コーヨー化成)
- 抗ウイルス抗菌保湿ティッシュ (五條製紙株式会社)
- どらやき (株式会社田子の月)
- 3Dプリンターフィラメント (東洋レチン株式会社)
- CNF強化樹脂 (日本製紙株式会社)
- CNF配合不織布シート (天間特殊製紙株式会社)
- CNF添加高剛度紙 (株式会社大昭和加工紙業)

- ブランド認定では、素材・材料製品も対象
- 広報・PRの他、ユーザーに触ってもらい、試作や評価、実用化に向けた用途開発を広げることが最大のメリット
- 活用勉強会として、セミクローズセミナー & 個別マッチング・相談会を開催

日本製紙株式会社
CNF強化樹脂「Cellenpia Plas」



日本製紙株式会社 CNF強化樹脂「Cellenpia Plas」を知ろう！編
開催日：2022年3月9日（水）13:30～17:00
会場：WORX富士（富士市島田町1-50）

各素材に興味・関心がある企業、試作・評価等を進めたいユーザー企業等を募集

- 各社から製品に関する紹介プレゼン
- 参加者からの全体質疑や意見交換
- 各社と参加者との個別面談

東洋レチン株式会社
3Dプリンター用フィラメント「Core Lane Filament」



東洋レチン株式会社 3DP用フィラメント「Core Lane Filament」を知ろう！編
開催日：2022年3月15日（火）13:30～17:00
会場：WORX富士（富士市島田町1-50）



令和4年度「F CNFブランド」の素材・材料製品に関する
活用勉強会を拡充し開催を予定

富士市CNFブランド認定「第3期」を
募集し、今後、認定予定

- 新素材・多機能な「CNF」の更なる利活用に向けた幅広いパートナーシップ形成
- プラットフォームや地域の内外を問わず、異分野・異業種等が連携・融合し、「オープンイノベーション型」による共創の場・機会が重要

異分野・異業種等の融合

食品産業×紙パルプ産業

(株)田子の月・日本製紙(株)



出典：田子の月HP

伝統産業×革新素材

(株)陶葺・第一工業製薬(株)・
京都市産業技術研究所



出典：陶葺HP

- ・思いもよらない繋がりや使われ方で広がる可能性
- ・ユーザーやサプライヤーの技術のすりあわせ(コーディネートを含め)の場・機会が必要

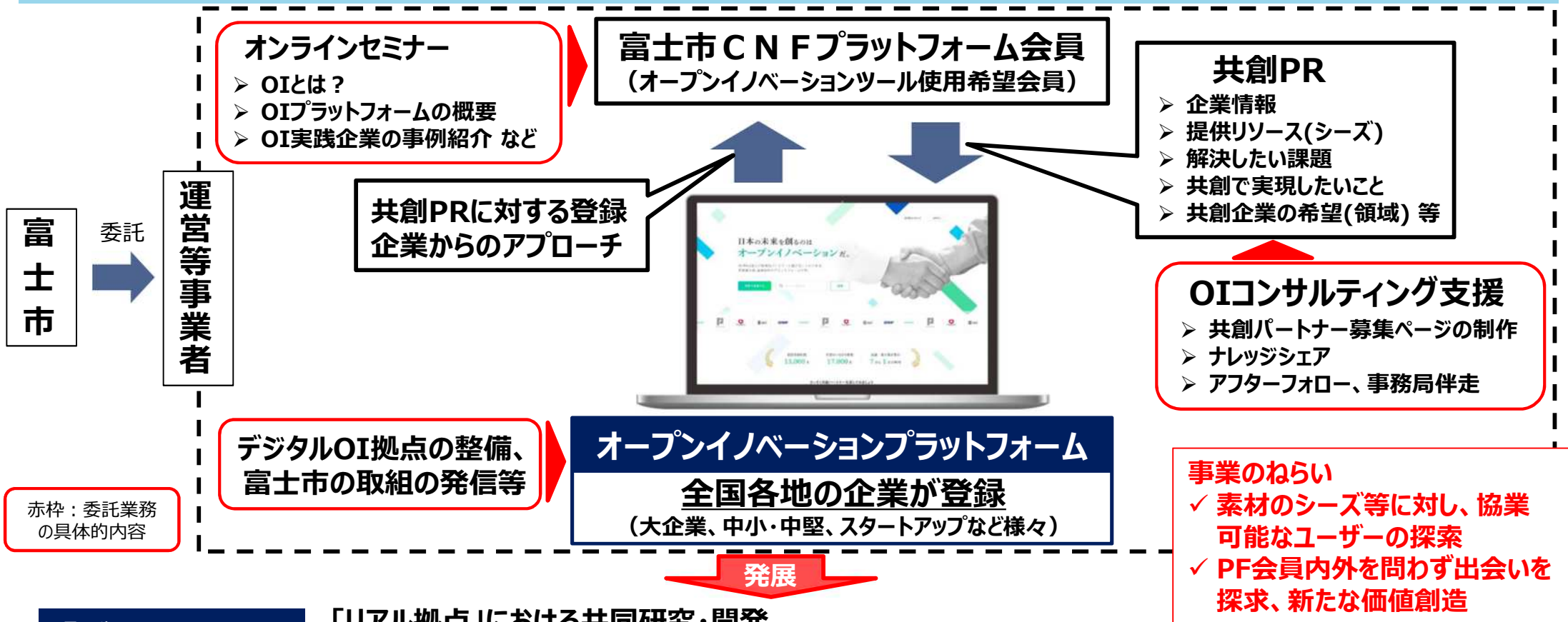


様々な特徴や機能：新たな活用方法、事業転換や連携体制の構築
既存事業の領域外：個社単独での実用化・製品化の難しさ

- ✓ 幅広い共創相手の探索、ユーザーニーズの把握、シーズとニーズがCNFをどのように使うのかのディスカッションの場、コミュニケーションサイクルの加速等が必要
 - ✓ 提供リソース(シーズ)、解決したい課題、共創で実現したいことなど「情報の公開」が重要
- ⇒ 「デジタルツールを活用したCNFオープンイノベーション促進事業」を実施予定

「デジタルツールを活用したCNFオープンイノベーション促進事業」

- コロナ禍における対面方式のマッチングやディスカッションの場が困難、企業活動の制限
- DXの推進によるビジネス手法の変革・新しい生活様式への対応
- 新素材等の展開には、自社のみでの課題等の解決は難しく、異分野・異業種等の協働（共創）がカギ
- リアル拠点の整備には、多額の設備投資や人流の発生、時間的制約あり
- リアル拠点では一部の企業等のみの関わり。他方で、デジタル活用の空間では、多くの企業や研究機関等との接点生まれ、アーリーステージでのディスカッションなど、オープンイノベーション活動の広がり期待
- 富士市CNFプラットフォームを基盤とし、PFの範囲を超えたオープンイノベーションを実現し、CNF等の新たな可能性を探索

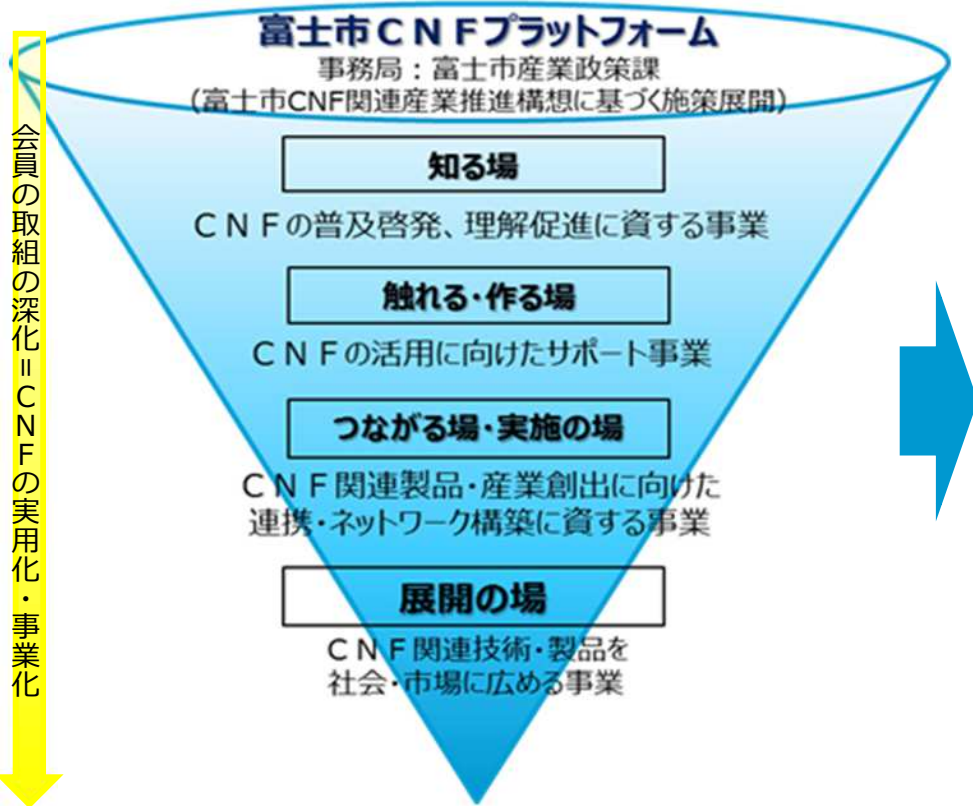


「バーチャル」から
「リアル」への展開

「リアル拠点」における共同研究・開発
新素材×ユーザー産業の新規事業の創出、域内企業の事業多角化による競争力強化、ベンチャー等 起業・創業スタートアップ、域内への企業誘致への発展

富士市CNFプラットフォームの活動まとめ

- **CNFに関する認知度や取組ステージが大きく異なる**
事業者の取組状況に応じた活動を企画し実施（右下の表中の太字の事業は新規又は拡充）
- **プラットフォーム運営や事業に対する改善や提案「富士市CNF関連産業推進懇話会」**
会員ニーズや関係者・関係機関等からの意見を踏まえた運営・事業計画



| 取組ステージ | 実施事業 (R3実績・R4予定) |
|--|--|
| 知る場 CNFの普及啓発・理解促進 | <ul style="list-style-type: none"> 全体セミナー2022(22年8月) 金融機関向けCNFセミナー(22年6月) 技術セミナー(21年12月) CNF普及推進員活動 ウェブサイトの運用、会報紙制作・発行 |
| 触れる場・作る場 CNFの活用に向けたサポート | <ul style="list-style-type: none"> 実践セミナー(22年3月) 補助金の運用 産学連携CNFチャレンジ補助金 静岡大学、富土工技や県CNF-CD等への橋渡し |
| つながる場・実施の場 CNF関連製品・産業創出に向けた連携・ネットワーク構築 | <ul style="list-style-type: none"> 富士市CNF関連産業創出事業(22年6月～) CNFビジネスマッチング(21年10月) 静岡県との連携事業(CNF総合展示会等) 静岡大学「ふじのくにCNF寄附講座」 「F CNFブランド」活用勉強会 富士市CNF連携拠点「磯貝 明 特別教授ラボ」 デジタルツールを活用したCNF-OI促進事業 |
| 展開の場 CNF関連技術・製品を社会・市場に広める | <ul style="list-style-type: none"> 富士市CNF関連産業創出事業の成果共有 富士市CNFブランド認定事業(21年8月～) CNFビジネスマッチング：会員の出展(21年10月) ⇒ふじのくにCNF総合展示会へ プロモーション推進事業(21年12月 他) |

アドバイザーボード
富士市CNF関連産業推進懇話会
(運営や事業に関するアドバイス・提案など)

推進構想 成果指標に対する進捗状況

- 推進構想では、「5つの方針」に基づき実施する施策の成果指標を設定
- 中間値（2024年）、目標値（2030年）における数値を設定

| 方針 | 指標 | 基準値 | 現状値 | 中間値 2024年 | 目標値 2030年 | |
|----|--------------------------|-----------------------------|-------------------|--------------------|--------------|--------|
| 1 | CNFの理解促進 | 市が主催するセミナーや研修 事業への参加延べ人数 | 70人 (2017年度) | 750人 (2021年度末) | 600人 | 1,200人 |
| 2 | CNFの活用促進 | CNF関連補助金の 活用件数 | 0件 (2017年度) | 6件 (2021年度) | 5件 | 10件 |
| 3 | CNF・地域産業の拠点 とネットワーク形成 | プラットフォームへの 参加団体数 | — | 167団体 (2021年度末) | 40団体 | 80団体 |
| 4 | CNFの事業化推進 | CNFを活用し、製品化した 市内事業所数 | 1社 (2017年度) | 10社 (2021年度末※) | 10社 | 20社 |
| 5 | CNFのまちブランド育成 | 活気がある工業都市だと思 う市民の割合 | 35.0% (2014年度) | — | 50.0% | 65.0% |

※CNFブランド認定製品の事業者 + 製品情報のリリース等の事業者を集計

- ✓ 第2期アクションプラン（2022～2024年度）終了時が推進構想に定める期間の中間年度となる。
- ✓ 既に中間値や目標値を達成する成果指標については、CNFに関する動向等を踏まえ、第3期アクションプラン策定（第2期アクションプラン終了）にあわせ、設定指標や目標値の見直し等を行うこととする。

本日の会議でご議論いただきたいこと①

- ◆富士市CNFプラットフォーム活動に関するご意見等
- ◆今後のプラットフォーム活動に対する要望や期待 など